

学校だより 「花里の子」

令和5年度 第20号

伊丹市立花里小学校長 小木曾 笑子

しあわせ運べるように

1月17日に地震の避難訓練を実施しました。毎年、3学期に地震の避難訓練を行うようになったのは、29年前の阪神・淡路大震災以降のことです。震災の日を前にテレビや新聞等で阪神・淡路大震災の特集が組まれます。また、県内各地で「1.17の集い」が行われます。花里小学校では、2学期に5年生が淡路島の野島断層保存館を訪れ、地震の凄まじさを自分の目で確認してきています。今年は、報道で能登半島地震の様子を目にしている子どもたちも多く、全校生が真剣に避難訓練に取り組みました。

学校では「1.17」を前に、震災について学びます。写真や映像等の資料を使って学習するのですが、29年前に阪神・淡路大震災を経験した教員も年々少なくなりました。震災の語り手が減り、伝承者が増えています。子どもたちの様子を見に各教室を回ったとき、当時小学生だった教員が子どもたちに震災の経験談を話していました。そこに私も参加し、教員としての経験談を話しました。お互い伊丹市の住民だったので、話の内容は似ていますが、子どもの目と大人の目、見たことは同じでも感じたことは違っていたようです。被災の状況が違っていると、感じ方もさらに違ってきます。子どもたちは「さっき聞いた。」とも言わず、じっと聞いてくれました。保護者の皆様も震災後に生まれた方が多くなってきていますが、お子様の発達段階に応じて、経験されたこと、聞いたこと等、当時の記憶を子どもたちに伝えていただきますようお願いいたします。



「しあわせ運べるように」は、神戸市の小学校で音楽の先生をしていた白井 真（うすいまこと）さんが作詞・作曲した曲です。阪神・淡路大震災から約1ヶ月後に、避難所となっていた学校の校庭で白井先生が伴奏し、子どもたちがこの歌を歌いました。被災者やボランティアの方々を励ました「復興の歌」として知られています。白井先生自身も被災者です。「あまりにも大きな絶望と、それを受け入れなければ生きていけないちっぽけな人間という存在。そしてふるさとが消えようとする大きな悲しみの中で生まれた歌」と著書の中で述べておられます。石川県をはじめとする能登半島地震の被災地に「しあわせ運べるように」みんなで祈りましょう。

アンケートにご協力 ありがとうございました。

12月に実施した「学校生活について」のアンケート集計がまとまりました。アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケート結果を真摯に受け止め、子どもたちの学力向上、教職員の指導力向上をはじめとする学校課題の改善に努めて参ります。
アンケート項目の中から、ご家庭にご協力いただきたいことに絞ってお知らせいたします。

学校生活についてのアンケート結果（保護者）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
1 楽しく学校に行っている	97.6	96.5	82.5	93.2	89.3	88.9
2 意欲的に学習に取り組んでいる	100.0	81.0	80.0	88.6	89.3	77.8
3 家庭で学習の習慣がついている	82.9	64.9	67.5	75.0	64.3	77.8
4 友だちや近所の人にあいさつをしている	80.5	75.9	82.5	93.2	82.1	85.2
5 家を出発するとき「行ってきます。」とあいさつしている	92.7	94.9	95.0	100.0	92.9	92.6
6 お子さんと将来の夢や希望について話すことがある	82.9	84.5	94.9	93.0	96.4	66.7
7 災害時の家族の避難場所や対応の仕方を話し合っている	53.7	62.1	61.5	70.5	82.1	66.7
8 お子さんの良い面をほめている	100.0	93.0	92.3	97.7	92.9	100.0

- ・家庭学習の習慣に課題あり
- ・「自分にはいいところがある」と回答する児童の割合が少ない。（自己肯定感が低い）
- ・高学年の就寝時間、起床時間の適正化
- ・家族以外へのあいさつに課題あり
- ・災害時の避難場所や対応について家庭内で確認をお願いします。

学校生活についてのアンケート結果（高学年児童）

	4年	5年	6年
1 学校に来るのが楽しい	92.2	71.2	81.6
2 平日の家での学習時間（習い事を除く）が30分未満	25.4	63.5	28.9
3 1週間の読書時間は30分未満	39.1	53.8	44.7
4 みんなと仲良くするために努力している	89.1	92.2	89.5
5 自分にはいいところがある	75.0	65.4	55.3
6 将来の夢や職業について考える	84.3	69.2	68.4
7 災害時にはどうしたらいいか、家族で話し合っている	51.6	42.3	40.5
8 朝ご飯は毎日食べるようにしている	90.6	84.6	92.1
9 早寝(22時) 早起き(7時)を心がけている	85.9	61.5	71.1
10 学校からもらう手紙を家の人にわたしている	92.1	71.2	89.5
11 自分から進んで地域の人にあいさつしたり、地域の行事に進んで参加したりしている	76.6	60.8	76.3

我が子に家庭学習の習慣が「ついていない」と感じておられる保護者が一定数見られます。子どもたちの「平日、家での学習時間が30分以内」の回答の割合も高く、保護者のみなさんの感覚を否定できません。

4月の学級懇談会で配付した「家庭学習のてびき」には、「学年×10分+20分」と家庭学習時間の目安が示されています。4年生は、60分、5年生は70分、6年生は80分となります。これは、宿題、読書を含めた学習時間です。宿題だけで足りなければ、自主学習など、自分で考えた学習に取り組みましょう。

自ら学ぶ力は、子どもたちの将来を豊かにします。学校でも、学習内容への助言を行います。が、家庭学習習慣の獲得のため、お子様への励まし、賞賛の声かけにご協力をお願いいたします。



大どんと祭りが行われました 2024.1.13

花里小学校自治協議会主催の「クリーンウォークラリー＆大どんと祭り」が実施されました。子どもたちの健やかな成長と地域の皆様の無病息災を願いました。「地域の皆様のご理解とご協力あつての行事である。」と本校第8代校長が常々申しております。様々な面からのご協力ありがとうございました。



2月10日(土) 自主防災会合同 訓練です。



行事予定

行事予定は、
GoogleClassroom にて
配信しています。